

2026年度 宝塚大学 看護学部 一般選抜1期：国語

出題の意図

第一問

- 問1 【漢字】文脈に即した漢字を類推できる能力と、語彙力があるかどうかを評価した。
出題された漢字はどれも同音の漢字が複数あるものであり、語句・漢字の意味や、語句の文中での使われ方を理解していれば正誤を判断できる。語句・漢字についての正確な知識は文章読解のため欠くべからざるものであるため、出題した。
- 問2 【文脈】文脈を把握したうえで、接続語を適切に使用できる能力があるかどうかを評価した。文と文のつながりを把握できていれば正誤を判断できる。文章を読みとり、正しく把握しているかを判断するため、出題した。
- 問3 【文脈】文章の内容を読解し、文脈を把握できる能力があるかどうかを評価した。直前の具体例を読み取れていれば正誤が判断できる問題である。
- 問4 【内容】文章中で述べられている内容を読解できる能力があるかどうかを評価した。
本文で述べられた説明を踏まえて具体的な様子を類推することができれば、正誤を判断できる問題である。
- 問5 【内容】文章中の抽象的な語句が意味する内容を正確に読解し、具体的な内容に展開できる能力があるかどうかを評価した。それまでに述べられた説明や具体例を踏まえていれば、正誤判断できる問題である。抽象的な内容を理解する能力は、論理的思考に必要なものであるため、出題した。
- 問6 【内容】文章の内容を読解し、因果関係を理解できる能力があるかどうかを評価した。
あるものごとについて文章中で説明された理由を捉える能力は、文章を論理的に読解するために必要なものであるため、出題した。
- 問7 【文脈】文章の内容を読解し、文脈を把握できる能力があるかどうかを評価した。直前の一文を読解できていれば正誤を判断できる問題である。長文読解に際し、読み落とすことなく内容を把握できているかどうかを判断するため、出題した。
- 問8 【内容】本文の要旨を読み取る能力があるかどうかを評価した。本文全体の文脈と内容を読み取れていれば正誤が判断できる問題である。文章の要点をつかむ能力があるかどうかを判断するため、出題した。

第二問

第二問は、漢字・語句等の知識を問う設問群である。これらの設問で出題した知識は、いずれも国語の能力として基礎となるものであり、高校までの学習や、言葉・文章に親しむ意欲が十分であれば身に付いているはずである。同時に、一般常識としての面もあ

るため、出題した。

- 問1 【漢字】文脈に即した漢字を書けるかどうかを評価した。
- 問2 【漢字】熟字訓を読めるかどうかを評価した。
- 問3 【熟語】熟語の構成を理解しているかどうかを評価した。
- 問4 【漢字】漢字の成り立ちを理解しているかどうかを評価した。
- 問5 【漢字】四字熟語を正しく書けるかどうかを評価した。
- 問6 【文法】国語の文法的知識が身に付いているかどうかを評価した。
- 問7 【語彙】対義語までを含めた広範な語彙力が身に付いているかどうかを評価した。
- 問8 【語彙】ことわざの意味を理解しているかどうかを評価した。
- 問9 【語彙】故事成語の意味と使い方を理解しているかどうかを評価した。
- 問10 【知識】著名な文学者についての、文学史的知識があるかどうかを評価した。

第三問

- 問1 【漢字】文脈に即した漢字を類推できる能力と、語彙力があるかどうかを評価した。
第一問の問1と同形式の問題であるが、語句・漢字についての知識は文章読解のために必要不可欠である。そのため、語句・漢字についての知識が十分であるかを判断するため、出題した。
- 問2 【文脈】文脈を把握したうえで、接続語を適切に使用できる能力があるかどうかを評価した。第一問の問2と同形式の問題であるが、文と文のつながりをとらえる能力は読解の基礎である。そのため、文脈を把握する能力が十分であるかを判断するため、出題した。
- 問3 【語句】文章の正確な読解には欠かせない、語彙力が身に付いているかどうかを評価した。語彙の多寡は文章読解の精度に直接影響する。そのため、語彙力が十分身に付いているかどうかを判断するべく、出題した。
- 問4 【内容】文章中で述べられている内容を読解できる能力があるかどうかを評価した。
傍線部のあとに述べられる説明と具体例を読み取れていれば正誤が判断できる問題である。文章の中で何が取り上げられているのかをつかめているかどうかを判断するため、出題した。
- 問5 【文脈】文脈に合った語句を選ぶ能力があるかどうかを評価した。また、出題した語句の意味についての知識が十分であるかどうかを判断するためにも出題した。
- 問6 【内容】文章中で述べられている内容を読解できる能力があるかどうかを評価した。
傍線部までの内容を理解できていれば正誤を判断できる問題である。
- 問7 【内容】文章の内容を読解し、因果関係を理解できる能力があるかどうかを評価した。
原因と結果を捉える能力は、文章を論理的に読解するために基礎となる能力である。論理的読解能力の程度を判断するため、出題した。
- 問8 【文脈】文脈を把握したうえで、語句を適切に補充できる能力があるかどうかを評価

した。文脈を把握できていれば正誤を判断できる問題である。文脈把握能力を判断するため、出題した。

問9 【内容】文章中で述べられている内容を過不足なく読解できる能力があるかどうかを評価した。「**適当ではないもの**」を選ぶ問いである。本文中の複数の内容を正確に把握するとともに、注意深く問題に取り組む能力があるかどうかを判断するため、出題した。